

平成21年度事務事業評価表	担当	上下水道部 下水道課	内線等	2222
---------------	----	------------	-----	------

事務事業名	下水道使用料徴収事業			
総合計画、市長マニフェストでの位置付け		(該当しない事業については記入不要です。)		
基本目標	2. 快適でやすらぎのあるまちづくり	施策名	下水道	
基本目標、施策に対する貢献度	2点 施策の達成にある程度効果があった			
市長マニフェスト	-			
市長マニフェストの執行状況	-			

事務事業の内容

対象(受益者)	市内の下水道施設使用者に
手 段	受益の程度に応じた適正な費用負担をしていただくことにより
成果、目標	負担公平の原則を守り、下水道事業の安定した経営に資する。

成果指標

成果指標名	収納状況(収納率)	使用料徴収1件に要する経費	
成果指標の説明	収納金額/調定金額×100	事業費/使用料徴収件数	
指標の推移	平成20年度決算(実績)	平成21年度決算(実績)	平成22年度予算(計画)
成果指標	98.4%	98.5%	98.1%
成果指標	273.67円	277.14円	

事業の概要

項 目	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度計画
水道の料金徴収と併せて徴収するため、水道課(株)ジェネッツに委託している。	108,653件 24,774,713円	110,308件 25,720,527円	110,885件 25,965,000円

事業にかかる人工

(単位：人)

H20 人工計	0.60人	次長 課長級	0.10人	補佐級	0.10人	係長級	0.30人	一般職	0.10人	非常勤		再任用	
H21 人工計	0.60人	次長 課長級	0.10人	補佐級	0.10人	係長級	0.30人	一般職	0.10人	非常勤		再任用	

事業費 決算書、予算書に記載のある事業は決算書等の事業費を記載してください。(単位：千円)

項 目		平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度計画
人件費 を含む 事業費	事業費	24,775	25,721	25,965
	人件費	4,960	4,850	
	合計	29,735	30,571	
財源 内訳	特定財源	0	0	
	一般財源	29,735	30,571	

事業の仕分け

A 現行どおり市が実施	説明	下水道使用料は下水道事業の主な財源であり、この財源を最も効率的かつ確実に確保するためには、水道事業への徴収事務委託が非常に有効な手段である。
-------------	----	--

必要性

必要性	A 市が実施すべき
-----	-----------

効率性

効率性	A 投入された予算、人工に十分見合った成果をあげている
-----	-----------------------------

総合評価

総合評価	A 現在の事業の進め方で十分効果があがっている
------	-------------------------

改善点、問題点等

過去の改善点	平成18年度から下水道使用料事務委託料算定方法を改正し、下水道使用料徴収事務委託料の減額を図った。下水道使用料も平成13年度以降改定していなかったが、適正化を図るため、平成21年度から平均10%値上げの改定を行った。
現在の課題、問題点	下水道供用開始から33年が経過しており、管渠及び下水道浄化センター等とも維持管理費が増大してきている。
今後の改善計画	維持管理費は原則として使用料で賄わなければならないため、定期的の使用料の改定を検討する。